

製品名: TLR9 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81697**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	115.8kDa

抗原情報

遺伝子名	TLR9
別名	CD289
遺伝子 ID	54106.0
SwissProt ID	Q9NR96
免疫原	大腸菌で発現したヒト TLR9 (AA: 868-1016) の精製された組み換え断片。

背景

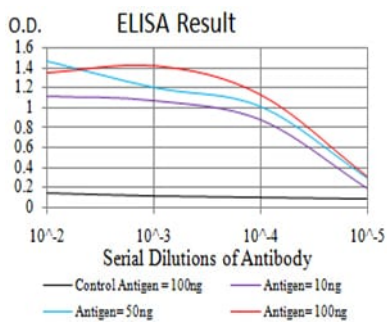
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、病原体認識と自然免疫の活性化において重要な役割を果たす Toll 様受容体 (TLR) ファミリーのメンバーです。TLR はショウジョウバエからヒトに至るまで高度に保存されており、構造的および機能的な類似性を共

有しています。TLRは感染性因子上に発現する病原体関連分子パターン (PAMP) を認識し、効果的な免疫の発達に必要なサイトカインの産生を媒介します。TLRはそれぞれ異なる発現パターンを示します。この遺伝子は、脾臓、リンパ節、骨髄、末梢血白血球など、免疫細胞が豊富な組織で優先的に発現します。マウスおよびヒトを用いた研究では、この受容体が細菌 DNA 中の非メチル化 CpG ジヌクレオチドに対する細胞応答を媒介し、自然免疫応答を誘導することが示されています。

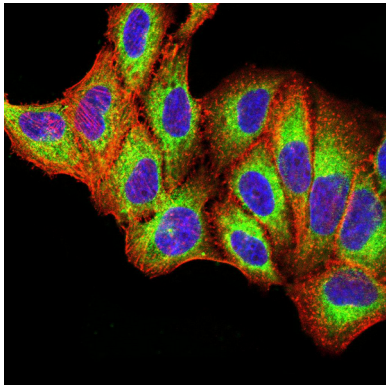
研究分野

-

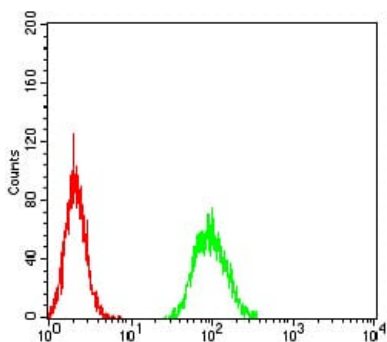
画像データ



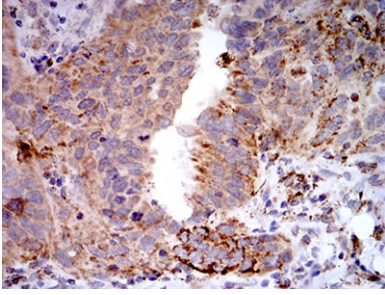
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



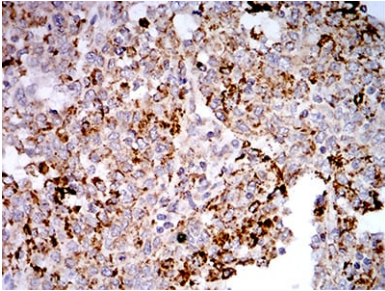
TLR9 マウス mAb (緑) を用いた SK-OV-3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



TLR9 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



TLR9 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



TLR9 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。